



平成 26 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
代表者の役職名 代表取締役社長 安 成 政 文
(J A S D A Q ・ コード番号 8 7 4 7)
問い合わせ先 常務取締役管理本部長 多々良 孝之
電 話 番 号 (0 3) 3 6 6 7 - 5 2 1 1

平成 27 年 3 月期第 1 四半期累計の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 27 年 3 月期第 1 四半期累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期第 1 四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
前 年 同 期 実 績 (平成 26 年 3 月期第 1 四半期累計) (A)	1,321	34	73	39
当第 1 四半期連結累計期間実績見込み (平成 27 年 3 月期第 1 四半期累計) (B)	902	△136	△124	△113
増 減 額 (B - A)	△418	△170	△198	△153
増 減 率 (%)	△31.7	—	—	—
(参 考) 平 成 2 6 年 3 月 期 実 績	4,237	△95	△39	△255

2. 差異が生じた理由

連結業績見込み

当第 1 四半期連結累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）においては、17 年振りに実施された消費税率引き上げによる影響で日本経済は落ち込んでいましたが、一部に持ち直しの動きもみられ、先行きは徐々に回復していく兆候が見受けられます。一方、世界経済は、米国での一部経済指標の改善など回復が続いているものの、中国経済の内需を中心とした弱含みなどが影響し、先行き不透明な状況が続いておりますが、商品先物取引の出来高は 295,065 枚(前年同期比 18.4%減)及び金融商品取引等の出来高は 300,841 枚(前年同期比 62.6 減)となり、受取手数料は 876 百万円(前年同期比 25.5%減)、売買損益は 14 百万円の利益(前年同期は 134 百万円の利益)となる見込みであり、営業収益は 902 百万円(前年同期比 31.7%減)、経常損失 124 百万円(前年同期は 73 百万円の経常利益)、四半期純損失 113 百万円(前年同期は 39 百万円の四半期純利益)を計上する見込みであります。

以 上